



ロゴマーク デザイン学部メディアデザインコース1期生 木村 尚史



若生 大地 『参加型作品「Factory」「ウェーブ」「観覧車」の製作  
～コミュニケーションツールと捉えたアート作品の魅力向上要素の効果検証を通して～』

特集

## 「知と希望」

### 「朝飯前」のススメ

札幌市立大学附属図書館長 ————— 中原 宏

### ヘレン・ケラーが教えてくれること

札幌市立大学看護学部・大学院看護学研究科 教授 ——— 定廣和香子

### 図書館をめぐる冒険

札幌市立大学デザイン学部 教授 ————— 原 俊彦

### 「知」こそ自由のみなもと。

札幌市立大学看護学部 講師 ————— 神島 滋子

### バカであること、バカで創ること

札幌市立大学デザイン学部・大学院デザイン研究科 准教授 ——— 柿山浩一郎

### いのちの誕生

札幌市立大学看護学部・助産学専攻科 講師 ——— 渡邊由加利

### 江戸のおしゃれ哲学～九鬼周造著「いき」の構造」のススメ～

札幌市立大学デザイン学部 講師 ————— 片山めぐみ

### 「生きた知識」を積み重ねて

札幌市立大学看護学部 助教 ————— 田仲 里江

### 学生の本にまつわる話

カウンターの内側から紹介図書・教員著作一覧

附属図書館貸出・視聴ランキング

図書館情報：企画展示『知りたい!現代アート作家の頭の中 Mind of Mindfulness!』

札幌市立大学  
附属図書館

SAPPORO CITY UNIVERSITY



<http://www.lib.scu.ac.jp/>

# 「朝飯前」のススメ

札幌市立大学附属図書館長  
中原 宏

## 筆者紹介

デザイン学部・大学院デザイン研究科 空間デザイン  
コース教授

北海道大学大学院工学研究科（建築工学専攻）博士後期課程修了。工学博士。（株）たくぎん総合研究所・主任研究員、札幌市立高等専門学校・助教授、同教授を経て、2007年4月より現職。市街地における施設用途の立地分析に基づく土地利用変容予測、人口の地域構造分析よりみたコンパクトシティ形成などに関して研究。北海道建築士審査会会長、「北のまちづくり賞」選考委員会委員長、札幌市中高層建築物紛争調整委員、活力ある市街地づくり推進方策研究会座長など公職多数。



イラスト・デザイン学部3年  
秋元菜奈実

● 「朝飯前（あさめしまえ）」という言葉がある。当然のことながら、朝食前は空腹で力が入らないし、時間の余裕もない。「朝飯前」とはそのような状況下で、いとも簡単に出来てしまう仕事を表した言葉である。

筆者はいつの頃からか、朝型の生活スタイルに染まっている。家族が起きる2時間前には起床し、読書や原稿執筆、資料通読、思考をする時間に充てている。2時間という時間の制約があるので、自ずと仕事は効率的にならざるを得ない。文字通り「朝飯前」を実践している。必然的に出勤時刻も早くなる。始業時刻までにもメール返信や会議資料作成、データベース更新、新聞各紙閲覧など、種々の仕事を片付ける事ができる。

●● 北緯43°に位置する札幌は、冬季は日没が早く、15時過ぎには薄暗くなる。日の出は7時過ぎで、朝食時でも外は明るくない。しかし、夏季では逆転する。春分の日前後から昼の時間が夜のそれを上回っていく。6月になると日没は19時過ぎで、20時頃まで夜の帳（とぼり）はおりない。札幌の夏至の日の出は3時55分であり、4時過ぎにはすっかり明るくなっている。この時期の北国の優位性を活用したい。

また、北海道は、国内はもとより、世界に先駆けて早く日付が変わり、新しい一日が始まる地域でもある。経済活性化や省エネルギー、余暇時間創出などの視点から、北海道の戦略論として「サマータイム導入」がたびたび浮上するもののためである。

●●● 昔から「早起きは三文の徳」など、早起きや早朝の活用を推奨する言葉は多い。これは電灯のなかった時代、照明油は高価であることから、「早寝早起き」が励行されたことにも起因する。「三文」とは一文銭三枚のことなので、「ごくわずかな」という意味ではあるものの、規則正しい生活のリズムが健康につながり、必ずよいことが得られるという教えでもある。

近年、ビジネスマン同士の早朝勉強会・交流会「朝活（あさかつ）」や、中高生のクラブ活動「朝練（あされん）」など、早朝を活用する取り組みが隆盛であるが、個人の自由度が小さいのは気がかりである。

一方、ある種の人々は「宵っ張り（よいっぱり）の朝寝坊」の生活スタイルを好む向きがある。深夜、多くの人々が寝静まったあとは何かに没頭できる。夜は長く、時間は無制限にあるような気がする。しかし、その分、起床時刻は遅く、起きるとすぐ夜になり、一日が短く感じられてしまう。一見、個人の自由度は大きいですが、夜は心身ともに疲れており、知的生産のためには必ずしも効率は良くない。

●●●● 新しい物事が始まることを「夜明け」とも言う。そこには、新機軸到来への大いなる期待感が込められている。また、「お江戸日本橋七つ立ち」と謡われるように、早朝は旅立ちの時でもある。早朝は清々しく、心気をリフレッシュさせる効果がある。目覚めに自然光を浴びて体内時計のスイッチが入る。このため、早朝には散歩やラジオ体操がつきものであるが、そのラジオ体操の主題歌の一節に「希望の朝」の語句がある。さらに、朝は「あした」（翌朝）とも読み、未来や希望に通じる意味がある。

すなわち、朝の勉強や思考はまさに「知と希望」であり、そこでの「未知との遭遇」には新たな発見をする楽しさと喜びがある。

実は、この原稿も「朝飯前」に書いている。

## 故事ことわざに関する本学ライブラリー収蔵図書

「四字熟語ひとくち話」岩波書店辞典編集部編。岩波書店、2007（岩波新書）／「ことわざの知恵」岩波書店辞典編集部編。岩波書店、2002（岩波新書）／「ことわざ事典」延原政行編著。金園社、1993／「故事成語」合山究著。講談社、1991（講談社現代新書）他

# ヘレン・ケラーが教えてくれること

札幌市立大学看護学部・大学院看護学研究科  
定廣和香子



イラスト・デザイン学部3年  
小野 絢子

## 筆者紹介

看護教育学領域・教授

学生をはじめとする看護職者の支援を通して、看護の対象に質の高い看護を提供することを理念とし、看護師行動に関する多数の研究を行っている。デザインと看護の連携プロジェクトや教育実践を通し、新たな看護理論や教育方法の可能性に気づき、その発展の実現に向けた活動を開始している。

「知と希望」というテーマをいただいて、私に何が書けるかしらと思いがぐねてしまいました。

子供の頃から本が大好きで、小学校のころは、図書館に代本版を持って行っては本を借り、たくさんの物語を読みました。両親は、毎月「世界の昔話」と「日本の昔話」を取り寄せてくれて、本が届くのを心待ちにしていたことを思い出します。誕生日プレゼントにも本をリクエストした記憶があります。

それなのに、最近は、本をあまり読まなくなっているような気がします。「知と希望」というテーマで、皆さんに紹介できる本はないかしら、と考えましたが、最近読んだ本といえば、「俺たち花のパブル組」「ストロベリー・ナイト」でした。前者は、ドラマ「半沢直樹」の原作本です。また、後者は、竹内結子さんが主演した映画「ストロベリー・ナイト：インビジブルレイン」の元になった連続ドラマの原作本です。

学術的な本でしたら、最近「心を動かすデザインの秘密」に目がとまり、珍しくあつという間に読んでしまいました。中でも、看護学研究にもよく登場するクラウス・クリッペンドルフが、実は、デザインの専門家だったということを見出し、デザインと看護の連携の可能性や、本質的な類似性に気づき、わくわくしました。

それでも、これでは「知と希望」というテーマには答えられないと思い、もう一度自分の記憶をたどってみました。

そこで、思い至ったのが皆さんもよくご存知の「ヘレン・ケラー」です。しかし、紹介しようとして、彼女の自伝を読んでいることに気づきました。私は、映画「奇跡の人」や、美内すずえさんの漫画「ガラスの仮面」を通して、あのあまりにも有名な「water」のシーンに出会ったのです。そして、ものには名前があるということをヘレン・ケラーが理解し、その瞬間から彼女の世界が暗闇から光り輝く世界へと変化していく様子が記憶の中に鮮明に残っていたことに気づきました。けれども、今回、せっかく機会をいただきましたので、ヘレン・ケラーの自伝を読んでみることにしました。

そうすると知識を得ることがどれだけ人間に希望を与えるのかということをもだまざと実感することができました。例えば、サリバン先生との出会いについて表現したこんな一節があります。「聖なる山から出ずる声が『知識は愛であり光であり望みである』と語るのを私は聞いたのです」

ヘレンは、ものには名前があるということを知り、様々な知識を獲得することによって、あたかも、目が見え、耳が聞こえる人と変わらないように景色を描写することができ、音を感じ、芸術すらも鑑賞できるようになったのです。

そして、学習についてこんな風に語っています。「どんな先生でも子供を教室に連れて行くことはできませんが、ものを学ばせるのは誰にもできることではありません。忙しくても休んでも、もし自由が自分のものであると感じなければ喜んで勉強はしないでしょ。勝利の歓喜と失望の傷心を味わってはじめて、自分に嫌な仕事でも意志を持って取りかかり、教科書の退屈な決められた勉強でも胸を張って楽しくやり遂げる決心ができるものです」

看護教育学を専門とする私には、はっとするような言葉でした。皆さんも自分の内なる声に従って、学ぶ自由を感じながら、学習していただけたらいいなと心から思います。そうすることで「知識が希望をもたらす」ということの意味が心から実感できると確信しています。

「心を動かすデザインの秘密：認知心理学から見る新しいデザイン学」 荷方邦夫著. 実務教育出版, 2013

「ヘレン・ケラー自伝：私の青春時代」ヘレン・ケラー著；川西進訳. ぶどう社, 1982

## 図書館をめぐる冒険

札幌市立大学デザイン学部

原 俊彦

## 筆者紹介

共通教育 教授

1977年-1982年 ドイツ・フライブルグ大学に留学し社会学博士 (Ph.D.) を取得。

人口問題を中心に社会統計分析、コンピュータシミュレーション・モデルの開発を行う。現在および将来の研究課題として、過去に開発してきた一連の人口モデルから得られた知見をベースに、産業・経済・労働・環境・行政などの諸分野との相互接続が可能な、汎用型人口モデルの開発を進めるとともに、市町村・都道府県・国単位・地球レベルで、「人口減少社会」への政策的対応を研究している。

著書に「思考は一瞬」、「日本株式会社の崩壊」、「狩猟採集から農耕社会へ」、「縮減する社会-人口減退とその帰結」(翻訳書)、「統計の世界-物の見方・考え方・心構え」(教科書) などがある。



イラスト・デザイン学部3年 秋田 胡桃

村上春樹の作品に『羊をめぐる冒険』というのがあり、J.L.ボルヘスの「バベルの図書館」(『伝奇集』に収録)とともに、図書館といえば最初に頭に浮かんでくる。どちらも東京の大田区立馬込図書館で遭遇した。さすがに老朽化と周辺地域の少子高齢化でやつれてはいるが、その図書館は地下鉄の駅に近い四ツ辻のところ、今もひっそりと存在している。

大学卒業直前に結婚し、妻の実家近くに住んでいた頃、ほぼ隔週で通い、開架式本棚の間をウロウロしては思いつくままに本を手に取り、疲れたら食堂でミルクコーヒーなど飲みながら、のんびり休日を過ごしていた。規模的には実にこじんまりとした図書館なのだが、司書は極めて有能で何を訊いてもすぐに調べてくれた(まだカードの時代)。馬込文士村の伝統を受け継いだのか、蔵書は森羅万象、実に幅広く、数多くはないが興味深く個性的な本が集められていた。またリクエストしておくとな新刊を発売と同時に購入し、入庫するとすぐに連絡してくれるので、大江健三郎や筒井康隆などの作品は本屋に並ぶよりも先に読み、親から独立したばかりで大した収入もない身には実に助かった。

海外の文学も充実していて、フランスのボリス・ヴィアン、アルフレッド・ジャリ、ル・クレジオ、ドイツのギュンター・グラス、ハインリヒ・ベル、アメリカのノーマン・メラー、J.D.サリンジャー、J.アップダイク、南米のガルシア＝マルケスなど数多くの作家を知った(その他にもミステリーやSFも)。さらに演劇、美術・写真集の類から先端的な環境食料問題・政治経済関係の本もあり、地階の書庫などを探索していると、自分の興味に合わせて蔵書が用意されているのではないかと不思議な錯覚におそわれた。

就職活動に失敗し大学院進学を考えたが、ゼミの先生からは「修士はともかく、博士課程で君の面倒を見る先生は誰もいな

いよ」(しばしば先生方を批判したため)といわれ、とりあえず結婚し何とか丸の内の写真屋さんに就職してみたものの、さて、これから何をやってゆくのかわからなかった。

今からみれば実に充実した時間だったが、そういう宙ぶらりんの状態で出会ったのが、ヘブライ大学教授Y・ドロアの『政策科学のデザイン』という本だった(後に続編『政策科学の冒険』を英語で読む。特に主流になることもなく今では忘れられている)。いまさら政治学なんて誰がやるかと思っていたのだが、この本を読んで「政策科学って新しい可能性もあるのだ!」と目から鱗状態になり、「自国以外の政治環境を知る必要がある」と書いてあったのを真に受け、写真屋は辞め留学しようと決意した。実際、翌年3月末には退職し、ヨーロッパに行ってしまった。実は最終的な留学先がドイツになったのも馬込図書館で見つけた『あなたもできるドイツ留学』という本で、TOEFLのような面倒な共通試験がなく(各大学が実施する語学試験のみ、母校の推薦状も不要)、授業料もない(年間8千円の学生健康保険のみ)という破格の条件を知ったからだ。

というわけで行け行けドンドンと無謀にもドイツに留学し(半年遅れで妻も退職し合流)、結果的には本にあった「飛び級制度」(修士論文が博士論文として受理される。理論上の話で実際にはレアケース、現在は廃止)を活用し、きっかり5年で博士号(Ph.D.)を取得し帰国した。政治学者ではなく社会学者になってしまったことや、帰国後再び失業状態になるなど様々な誤算はあった。だが、その後も紆余曲折を経て札幌に移住し大学教員になるまで、子育てしながら馬込図書館との付き合いは続いた。

それは「バベルの図書館」ほどの壮大な宇宙ではないが、人の一生を左右するには十分な、冒険の機会を与えてくれた。

# 「知」こそ自由のみなもと。

札幌市立大学看護学部  
神島 滋子



イラスト・  
デザイン学部3年  
大塚めぐみ

## 筆者紹介

成人看護学領域・講師

専門領域はリハビリテーション看護、脳神経看護。脳卒中や頭部外傷による高次脳機能障害の当事者・家族に関わりながら、この、摩訶不思議な障害を持つ方への看護支援について研究を進めている。

図書館や本屋はまさに「知」の宝庫である。そして「希望」は「知」によりはぐくまれる。「知」は字源から考えるとまっすぐ射貫く「矢」と「口」で物事をまっすぐに言い当てることだそうで、知ることにより物事の真実に到達することを意味しているのだろう。すなわち、本はそこにただ存在するだけでは知識とはならず、本を開いてみなければ知ることはできない。新しい本は新しい世界への入り口であり、本に出会う図書館や本屋さんには未来への希望につながる橋になる。

看護という仕事はまさに「知」が「希望」につながる創造性の高い学問である。看護の対象である人はそれぞれ千差万別で、同じ病気だとしてもひとそれぞれ、症状の現れ方も感じ方も異なる。また、その人の背景にはそれぞれのそれまでの歴史や生活があり、これまた千差万別である。

さて、この中の「知」と「希望」とは何か？ 看護に求められる「知」は人間の形態機能や病気の成り立ちといった医学的な知識、看護を提供するためのスキルや考え方の基本としての知識、看護の対象である人間とそれを取り囲む環境についての知識が求められる。しかし、もっとも求められるのは自分の目の前にいる患者（対象）その人の気持ちや立場、生活について思いを馳せ、理解しようとする能力である。このためには、様々な人の実際の気持ちを知ることが求められる。小説(自伝だけでなくフィクションでも)は、思いもよらない人の感情や行動を描き出して見せてくれる。

こういった「知」をたくさん持っている「希望」は増大する。医学的知識や看護のスキルが高いほど、一般的な方法に縛られずシンプルで自由に看護援助を組み立てることができる。また、対象となる人の気持ちを理解しようとする心は、相手の心を温かに溶かし信頼という「希望」につながるかもしれない。そしてこの両者を兼ね備えていれば鬼に金棒である。な

どと言っても、このことは看護に限定せず、すべての仕事や生活の姿勢につながるものだろうと思う。

さて、このような考えを私に与えてくれたいくつかの本を紹介しよう。

まず、小学生の時に読んだ「モモ (Momo)」である。ドイツの作家ミヒャエル・エンデによるもので、有名な作品だから一度は手に取ったことがあるだろう。何度か繰り返し読んでいたが、読む度に考えさせられる内容が変化する貴重な本だ。時間貯蓄銀行に時間を盗まれていることに気づかない人々が心の余裕をなくしていく。聞き上手なモモは人の話を聞くだけで話した人に自分を取り戻させ、物事の本質を大事にしながら盗まれた時間を取り戻す少女の話である。人の話を聞くことの大切さ、時間という得体の知れないもの、心を潤すことの大切さ、色んなことを学んだ。また、エンデ自身が後継者と認めたらルフ・イーザウの作品もおすすめだ。中でも「暁の円卓」シリーズは日本の原爆投下も扱われており、興味深いし、壮大なファンタジー・サスペンス、そして恋愛ストーリーでもある。

リハビリテーション看護という専門の立場からは、大野更紗「困ってるひと」。大学院生の時に発症した不思議な病で入院した際の闘病体験記を紹介したい。ものすごくつらい体験を痛快に思わず笑いを誘うタッチで描かれていて、お見事！である。専門家の立場からすると、こんなに患者はつらい体験をしていることを今一度肝に銘じるべきだと思った本だ。

ミーハーな本ばかりのおすすめで申し訳ない。ところで、最近「本を読んだことがない、本を読まない。」という学生の話は何度か聞く。字が読めるということはすばらしいこと。識字率のすばらしく高い国・日本の学生諸君。知を得て、自由になろう！

# バカであること、バカで創ること

札幌市立大学デザイン学部・大学院デザイン研究科  
柿山浩一郎

## 筆者紹介

製品デザインコース 准教授  
2005年 筑波大学大学院 芸術学研究科 芸術学専攻 修了。博士（デザイン学）。  
感性評価、情報プロダクトデザインに軸足を置き、近年ではデザインと看護の連携を柱とした研究教育に力を入れている。好きな言葉は「夜を信じるな。明日を信じるな。」（意味：夜や明日やれば大丈夫という自分への甘えはリスクを増すばかりである）

この度、僭越ながら「のほほん」への寄稿依頼を、特集テーマ：「知と希望」ということで頂きました。このテーマを頂いて頭に浮かんだのは「知＝学び方」「希望＝生き方」という構図と、養老孟司先生の「バカの壁」という書籍でしたが、デザイン学部の学生さんに向けた本の読み方に関する私見のメッセージの発信の機会と位置づけ原稿を投稿させて頂くことに致しました。（看護学部の学生さんへの配慮ができずごめんなさい。）

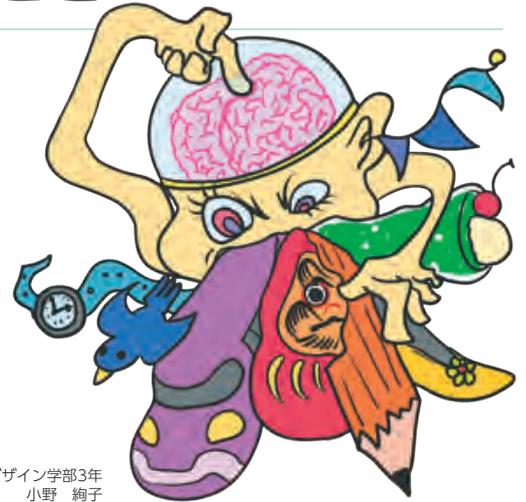
## 「知＝学び方」

デザイン学を学ぶということは、他の学問を学ぶということです。車のデザインをするには「工学」を学ぶ必要があり、情報システムのデザインをするには「情報学」を学ぶ必要があります。よって、大学生活において自ら能動的に本を読み「学ぶ」ことの重要性は言うまでもありません。但し、他の学問の専門家になる必要はありません。デザイナーの存在意義として重要なのは、工学の専門家（ex.エンジニア）ができない創造を工学の素人（バカ）だからできる、情報学の専門家（ex.システムエンジニア）ができない創造を情報学の素人（バカ）だからできるということだと考えます。

本を読み「学ぶ」ことの重要性は揺らぎませんが、本の読み方「学ぶタイミング（順番）」が重要であると私は考えます。「1. まず創ってみる（課題に対するデザイン的解決策を完成させる）」そして「2. 学ぶ（その課題のフィールドの状況を把握し他の解決事例を調査する）」という順番です。（3. 自らの解決策を評価する、が私の専門領域ですが今回は割愛します。）

1と2の順番が逆であるのが一般的と考えられます。私が問題視しているのは、先に「学ぶ」を実施することで思考が既成概念に凝り固まるということ、他の解決事例を見聞きすることでその延長を考える思考回路が形成されてしまうということです。これでは、デザイナーに最も求められるオリジナリティや新規性の追求に支障が出てあたり前です。

以上の知見から、私自身はある課題を対象としたデザイン業



イラスト・デザイン学部3年  
小野 絢子

務を行う際に、その課題に関連する本を読み「学ぶ」のは、最後と決めています。もちろんこの順番により、まず創ってみた解決策が先行事例と似通ったものになってしまい、提案に繋がらないことも多々あります。しかし、先人が苦勞してきた創造のプロセスを自ら体験できるという大きな利点があります。本を読み「概念的に解った」ということとは異なるということです。

また、近年ではインターネットの成熟に伴い、多様な知識を簡易に取得可能な環境が整備されましたが、通常はGoogleなどの検索エンジンを通して情報の取得が行われます。しかし、一般的に検索の上位に上がってくる知識は、リンクポピュラリティーといった検索エンジンのアルゴリズムの性質上、偏った知識となります。こういった知識の偏りに落ち入ることが少ないのが、本屋さんや図書館でタイトルや目次から内容を推測して本を選ぶといった「知識との偶然の出会い」であると考えます。

是非、バカな状態の自分を信じてデザインをし、常に自己評価を続けてください。

## 「希望＝生き方」

まだまだ人生経験の浅い私が「生き方」を語るの是不適切と判断し、以上のような「学び方」に関する私見が本原稿の中核となりました。最後に「生き方」の事例(?)として、お勧めの一冊をご紹介します。

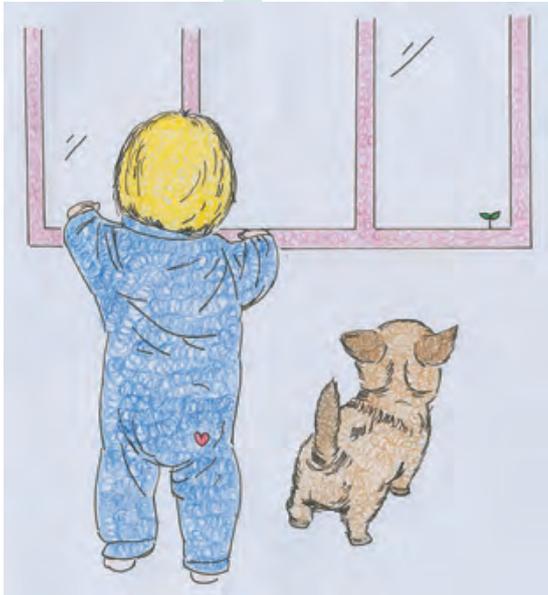
前述の養老孟司先生の「バカの壁」です。内容としては、人生・社会の諸問題について、「脳」「個性」「無意識」「教育」などの多様な角度から、科学的な実験事例を噛み砕いて紹介することを通して、日常生活のコミュニケーションや生き方に関するヒントを示した一冊です。「デザイン」や「発想」という視点を念頭に置き本書を読むことで、前述の「学び方」に関連する知識や、皆さんの現状の課題を解決する一助になると考えます。是非ご一読ください。

## お勧めの図書

「バカの壁」養老孟司著、新潮社、2003（新潮新書）

# いのちの誕生

札幌市立大学看護学部・助産学専攻科  
渡邊由加利



イラスト・デザイン学部3年  
加藤しおり

## 筆者紹介

母性看護学/助産学領域・講師

初めての妊娠を経験している夫婦が安心して妊娠・出産・子育てができるような支援を研究テーマとしている。現在、夫婦間のコミュニケーションに焦点をあてたプログラムを模索中である。

私が「知と希望」という言葉を聞いて、はじめに思い浮かぶのは「いのちの誕生」ということです。今も実習で「いのちの誕生」の場に携らせていただいています。生まれてきたばかりの新生児に出会うと、何も持っていないように見えるけれど、すべてのことをもっているように見え、大きな可能性を感じます。すなわち持っていないことが可能性や希望につながるのだと思います。しかし、私たちは年齢や学習を重ねるにつれて、もっていないこと（知識など）、わからないことはダメなこととして自分や他者を捉え、その枠（パラダイム）が行動や可能性を狭めることになってはいないでしょうか？

パラダイムが行動や可能性を狭める具体例について、私自身がパラダイムから他者を評価したり、評価されたりした事例を書きたいと思います。皆さんは、赤ちゃんが産まれたら、すぐにお母さんやお父さんになれると思いますか？ 以前は、母性は本能であり、不安や心配を抱くことが母親失格のように言われてきた時代がありました。私自身も助産師をしていた頃、あるお母さんから「赤ちゃんが吐いたらどうやってうがいさせたらいいの？」と聞かれ、唾然とした記憶があります。これは「母親だから」というパラダイムからみてお母さんの心配に目を向けられていなかったのだと思います。これではお母さんの力を引き出すどころか、持っている力を奪うことにつながります。一方、判断や評価ではなく、「ああそう感じているんだ・・・」と受け取ると、見方が変わってきて、新たな支援につながっていくことが分かりました。

また、そのような気持ちから、妊娠中の夫婦がどんな体験をしているのかをインタビューをしたことがあります。その際に、妻が夫の話を聞いて「そんなことを思っていたんだ・・・」と嬉しそうにしているのを見て、夫婦であってもお互いが感じたりしていることを何でも話せているわけではないのだとわかりました。結婚されている方は当然と思うかもしれませんが、私の中に夫婦はお互いに何でも話せるというパラダイムがあることに気づきました。その後アンケート調査を行ない、妻と夫のコミュニケーションの取り方には違いがあり、夫は衝突を避

けようとする傾向があり、自分の気持ちを配偶者に話すことが少ないことが分かりました。外国の調査では、この違いがその後の夫婦関係や育児に影響していくことが明らかにされており、支援の必要性が指摘されています。これらから日本においても妊娠期から夫婦のコミュニケーションを維持・促進するための支援が必要と考え、他者に相談しました。しかし「病気でもないのに、何故そんな大きなお世話のような支援が必要なのか」との評価を受け、私はその後の行動を止めてしまいました。今思うとこの助言を下された方は、「医療者は病気になってから支援するもの、特に家庭のことは他人が口をはさむことではない」というパラダイムがあったのだと思います。しかし最近、自らの父親としての体験をもとに、妊娠中からの夫婦のコミュニケーションを高めるために自身が両親学級を開催したり、「夫婦産後手帳」を作成するなど、これらの活動が話題を集めています。この体験から考えていたことが意味がないものではなかったことがわかった一方で、他者の評価に縛られていた自分に気づきました。

何かを創造したりするためには、自分が持っているパラダイムを知ることが大切だと思います。皆さんは、「～すべき」、「～ねばならない」、「～するのは当たり前」と思って行動していることはありませんか？それを疑ってみることで新たな発見が見いだせるかもしれません。うまくいかいかないのではなく、いろいろ試行錯誤してやってみて、違ったらまたチャレンジしてみる。そして、一定の枠から評価するのではなく、何かしたいと思うチャレンジ事態を受け入れる人的環境、中でもお互いを承認するコミュニケーションが大切ではないかと考えます。

## お勧めの図書

「子供をもつと夫婦に何が起るか」 ジェイ・ベルスキー、ジョン・ケリー著；安次嶺佳子訳、草思社、1995

「ほめない子育てで子どもは伸びる：声かけをちょっと変えただけで驚くほど変わる」 岸英光著、小学館、2010

# 江戸のおしゃれ哲学 ～九鬼周造著『いき』の構造』のススメ～

札幌市立大学デザイン学部  
片山めぐみ

## 筆者紹介

空間デザインコース 講師

東京工業大学大学院総合理工学研究科人間環境システム専攻にて博士（工学）を取得。福祉施設を拠点とした地域コミュニティのモデル化や高齢者と地域を結び付ける新しい試みの国際比較、そして寿都町におけるコミュニティ・レストラン「風のごはんや」の提案など地域の資源を再発見し有効活用することを目的として、常に現場に携わることをモットーに研究・デザイン活動を行っている。また建築・環境デザインに関する研究では、設計初期段階における立体的なエスキスを可能とするデザインツールの開発、そして札幌市円山動物園のリニューアル計画に関する研究とデザインなど、幅広い分野で環境と建築の可能性を追求している。

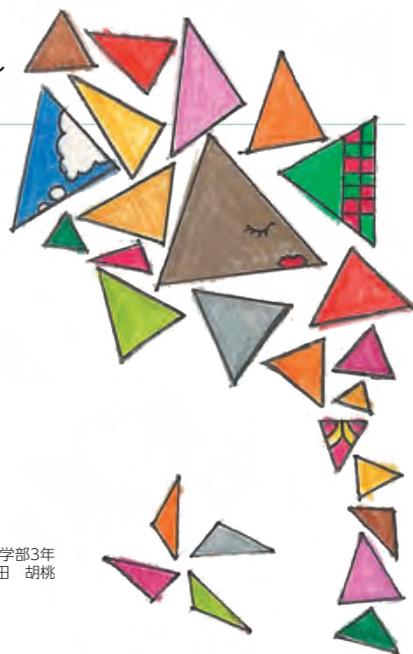
山肌もあらわになるほど木々の葉が落ち、すっかり初冬の景色が目につくようになりました。マフラーやシャツ、セーターなどの重ね着も楽しい季節ですね。大学院時代に1年を過ごしたタイでは、重ね着は人々の憧れのスタイルでした。年中常夏の南国に居れば、服は1枚でも脱いでしまいたいほどで、重ね着どころではありません。我が国には、服の色や柄、素材、メイクの色などの重ね合わせを、季節ごとに変化をつけて楽しむ習慣があります。実は、こういったファッション文化、江戸時代には現代に勝るとも劣らない哲学のもとに多くの着こなしがありました。日々の生活をちょっと楽しいものにするおしゃれを切り口に、江戸時代の「知」をご紹介しますと思います。

江戸のおしゃれは、省略するのがカッコイイという感覚に端を発します。きれいな色を身にまとい、きちっとお化粧するのが身だしなみという上方（京都）への対抗心から生まれました。女性の着物は、一見、綿にみえるような絹を使い、時には男性用生地で作って着るなど、地味なものが好まれました。帯も古く地味なものを下の方でゆるく結び、胸元もゆったりさせて、男性のように「懐手」をするのがおしゃれとされていたようです。男性の着物も、身丈と同じくらい長く、黒い羽織をまとい、一見地味に見えるが、裏に奇抜な絵が描かれていたり、赤い帯や下着を身につけるのが格好良さでした。

万事、あっさりとした涼しげでござっぱりしているのが良い。ゴテゴテと白粉を塗りたくった厚化粧は「野暮」で、薄化粧が「粋」。ヘアスタイルも文金高島田や丸髷のようなきちとしたものより、つぶし島田など、すこし型をくずした方が「粋」。また、こてこて油を使わず、水に濡れた髪が良く、さらに「洗い髪」姿はいつそう「粋」とのこと。

こういった「粋」の感覚をより深く捉えようとした人がいます。日本の哲学の第一人者である九鬼周造は、1930年に『い

イラスト・デザイン学部3年  
秋田 胡桃



き』の構造』を出版しました。日本で初めての哲学書といわれ、欧州留学中に再発見した日本の美を、現象学の手法で分析しようと試みた論文です。「粋」は「媚態」と「意気地」と「諦め」の3つの意識により成り立つとされています。詳しくみていきましょう。

まず、「媚態」が根幹を成しており、「女が男にこびて、なまめかしくふるまう態度」を意味する。「なまめかしさ」「色気」などは、すべて自己と異性との二元的可能性を基礎とする緊張にはかならないとされています。「意気地」は、元々は武士道の道徳的理想だったので、町人に伝わると、金や権力に取り込まれない心意気、生き方とされました。加えて、媚態に緊張を与えるのだそうです。「諦め」は、運命に基づいて執着を離脱した無関心と位置づけられています。「垢抜ける」とは、浮世で苦勞を重ねてその垢を洗い去ること。苦勞に苦勞を重ねて世にスレるのではなく、洗練されることが垢抜けると言われていました。世が常ならぬ事や、運命を受け入れる世界観とされています。

おしゃれのデザイン的要素に還元すると、縦縞はカッコイイが横縞や放射状の縞がダメな理由は、縦縞は線が身体の長い方向に伸びているので、視覚的効果によってより平行線が強調され、「意気地」が感じられるからだそうです。放射状の縞は、線が中心に集まって目的を達しているの、「無関心性」や「無目的性」の点で「粋」を表していないと説明されています。このように、所々、無理矢理と思うような展開もありますが、初期の哲学者の奮闘が垣間みられて、哲学を少し近く感じるきっかけになります。昔の言い回しが読み難い部分もありますが、現代の哲学書ほど分かり難い内容ではないので、ぜひ一読あれ。



イラスト・デザイン学部3年  
大塚めぐみ

# 「生きた知識」を積み重ねて

札幌市立大学看護学部  
田仲 里江

## 筆者紹介

地域看護学領域・助教  
北海道内の人口9000人程度の町で保健師として勤務後、教育の道に入り3年目。研究テーマは、生活習慣病における保健師の保健指導方法についてである。また、糖尿病予防や慢性腎臓病予防に取り組む保健師の支援を構想中である。

私の父は、子供達に会うたびに、「勉強しなさい」、「本を読みなさい」、「文章を書きなさい」というのが口癖です。私は、これを父の愛情表現の一つなのだと思っています。そして父はときどき、私たち子供に本や新聞の切り抜きを送ってくれます。父からの贈り物は、私のポートフォリオをいっぱいにしてくれています。

その中から、1冊の本を紹介します。

「人が学ぶということ：認知学習論からの視点」今井むつみ、野島久雄編著。北樹出版、2003  
(芸術の森 2F 開架 141.3/lma)

学習者にとってなにより重要なのは、テストでいい点をとってほめられたり、ごほうびをもらったりするという外的な報酬ではなく、学習する者が自分自身で何を知りたいか、理解したいかというような内在する知的好奇心である。また、その分野であるかを問わず、何らかの分野で熟達者になるためにもっとも重要なことは、学習者自身がその分野を好きでたまたま、たゆまぬ練習をつらいと思わず、向上していくために絶えず自分で工夫していくことができるかどうかである。

学習した知識を「死んだ」ものにしないためには、その知識を学習する者がすでに持っている知識にしっかりと関連づけ、その知識に統合しなければならぬ。知識を何回も繰り返し使うことで知識が「体の一部」となり、別の文脈で自由に取り出し可能になるように再編成される。「生きた」知識は「必要に応じて」いつでも柔軟に思い出せて応用可能な知識であり、そのためには「知識を使う練習」が不可欠である。

「十年修行の法則」は、何の分野でも熟達者になるには最低

10年の地道な訓練が必要だ、というものだ。どのような分野にせよ、何かに熟達するには、つまり基礎をしっかりと体が覚え、状況に応じて臨機応変に対応できるようになり、さらに創造的になれるには、長い年月がかかる。

どのような分野であれ、その分野で「熟達者」になるという「希望(MY GOAL)」を達成するためには、長い年月「継続」しなければ実現できないのではないのでしょうか。このことについて思い出されるのは、私の祖母の口癖でもあった「継続は力なり」という言葉です。何事についても「継続は力なり」であり、継続することが基本だと思われまます。私自身も「継続は力なり」ということの大切さを実感している今日この頃です。

学ぶことで、確かな「生きた知識(知)」を自分のものにして、はじめて、よりよい「希望(MY GOAL)」を設定ができるのではないかと思います。

「生きた知識(知)」は、決して、大学で勉強するだけでは獲得できないようです。これから、様々なことに興味を持って、毎日の生活の中で、自然に触れて季節を感じたり、旅をして異文化を体験したり、友人や大切な人と一緒に過ごしたり、部活やサークル活動などを通じて、「生きた知識(知)」を獲得し、一步一步、皆さんの「希望(MY GOAL)」を達成していった下さい。

「生きた知識(知)」を得る方法はたくさんあります。ぜひ、その方法や過程を自分のポートフォリオに綴ってみてください。「生きた知識(知)」を積み重ねて、「希望(MY GOAL)」を切り開いてください。

もっとも、私自身もまだまだ修行の身ですが……。

## 私の徒然なる本の話

札幌市立大学デザイン学部1年  
山越 双葉



イラスト・デザイン学部3年 加福しおり

小さい頃からずっと、本は私の生活の一部だ。小説、雑誌、マンガ、新聞、論文、様々なパンフレットやフリーペーパーも含め、活字ならなんでも読むと言って過言ではないと自負している。娯楽として楽しんでいることはもちろん、今持っている知識の大半を本から得ていたりもする。最近は幼い頃よりも本を読む量が減ってしまったが、それでも本と私は切っても切れない関係である。残念ながら記憶力は良いほうではないので、印象に残っている3冊の本について個人的なことを語らせていただこうと思う。

### 「小さい頃好きだった本」

今でもそうだが、小さい頃はいろいろなことが絵や写真付きで載っている図鑑が大好きだった。動植物はもちろん、乗り物や世界遺産など、様々な種類を読みふけたものだ。特に、小学校低学年の頃、学校の図書館で何度も何度も繰り返し読んでいた本がある。“魔女図鑑 魔女になるための11のレッスン”という絵本だ。この本は魔女という謎の多い存在に関して大きな紙面に絵と言葉で事細かに記述されており、所詮でたらめだと思いつつも読むたびにわくわくしながらページをめくっていたのを覚えている。今の年齢では妄想という言葉でくづられがちだが、私の想像力を非常に刺激する一冊であった。本学の授業でもあるように、絵本には絵本だからこそ持っている様々な魅力がある。その魅力がぎゅーんとつまった本に幼少期に出会えたことは、誠に幸福なことだったと思う。

### 「挫折した本」

先ほど活字ならなんでも読むと豪語した私であるが、実は今までで唯一、途中で挫折した本がある。名作も名作、“吾輩は猫である”だ。当時私は小学3年生で、有名な小説を読んでみようとする市立図書館から借りてきた。文庫本で上下巻構成となっており、たしか上巻の真ん中あたりで挫折したはずである。小

3の私の頭にはいささか難しい言葉遣いだったことが原因であったと思う。冒頭部分はいやに覚えているのだが、それ以来どうしてか十数年間一度も読み返さなかった。せっかくなのでこの機会にもう一度読んでみることにした。するとどうだろう、なんの抵抗も無く、読める読める。今まで読まなかったのがもったいないくらいだ。少々大げさかもしれないが、一度挫折した本を読むことでささやかながら自分の成長を実感できたような気がする。

### 「最近感銘を受けた本」

これをただ単に“本”とっていいのかわからないが、大学生になってから美術館でみたダ・ヴィンチの“アトランティコ手稿”に大変魅力を感じた。普段自分のノートぐらいしか手書きの書物を見ないからだろうか、何百年もたった後でも勢いや鮮明さを感じられる肉筆に私は圧倒された。紙の端まで隙間無く書かれていたり、かと思えば見やすく大胆に余白がとられていたりする紙面からは、私には読めないにもかかわらず息づかいが聞こえてきそうだった。日頃自分で字を書く時の善し悪しの基準とは異なるものを感じることができた。また、デザイン学部で籍をおくものとして、素描やスケッチの緻密さに学ぶべきところが多かったのは言うまでもない。学生のうちにこのような密度の高いものを直接みる機会があったことは、非常にいい経験だったと思う。

残念なことに近頃私はあまり本を読めていないが、新聞は毎日かかさず読んでいる。また、大学生になってから図書館でデザイン関係の雑誌を読むようになったことは自分にとって大きいと思う。この大学の図書館は今まで値段が高くて手が届かなかった雑誌もたくさんおいてあり、行くとたびにわくわくして手に取る。リクエストや取り寄せなども含め、これからも思う存分図書館を利用して行きたいと思う。

# つまみ食い読書のススメ

札幌市立大学看護学部3年

下田 裕子



イラスト・デザイン学部3年 パレット エイミー

本の読み方は、人それぞれである。熟読、速読、音読、黙読、眺め読み、読み飛ばし、邪道であるかもしれないが、ラストだけ読むなど。私の読み方を例えると、「つまみ食い」読みである。ケーキの上の生クリームを一口すくって食べる感じだ。お母さんに怒られながら、盛りつけられたケーキをちょろまかす。実に幸せな気分になるのだ。

看護学部には所属している私は、勉強のために本を読むほかに、本で息抜きをしている。本が好き、読書家のように思われるかもしれない。しかし、私がするのは「つまみ食い」である。目次は読むが中身を飛ばして最後だけ読む。パラパラとページをめくって終了する。買うだけ買って棚にしまっておくこともある。表紙やタイトルを眺め見て、インスピレーションを得たものを読むのだ。ギャンブルに近い。しかし、ギャンブルが成功したときの喜びは何にも代えがたい。人生の愛読書になった本もある。近藤真理恵著「人生がときめく片付けの魔法」は成功例だ。私は表紙のときめきの文字に反応し、なんとなく購入した。残念ながらこれまでは整理整頓に関連した書籍は眺めるだけで満足し読み終えたことはない。しかし、驚いたことに本は「完食」した。そして、ごみ袋3袋分のいらない洋服を片付けていた。晴れやかでどこか誇らしい気持ちになった。

もちろん、成功があれば失敗があるわけで、残念ながら1ページしか読めない場合も多々存在する。有名な賞を受賞した作品でも読んでいない（手に入らないという意味ではない）本もあるし、世界的に有名な先生の本を読んで15秒で挫折したこともある。世間一般に好まれる文体が睡眠を誘うのだ。朝、すっきり目覚めた日に再挑戦したい。

そんな私が今オススメしたい本は、ロバート・フルガム著「人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ」である。こんなに長いタイトルなのに、きちんと覚えている。表紙もすばら

しい。この本と出会ったときの私は、高校生だった。毎日がなんとなく重たく感じていたときで、生き方のヒントのように中身がすっと入ってきたことを覚えている。「何でもみんなで分け合うこと。ずるをしないこと。人をぶたないこと…」シンプルな考えが頭のもやを、軽く吹き飛ばしてくれたのだ。つまみ食いを推奨し実践している身であるが、ぜひ最初の一章を飛ばさず読んでみてほしい。きっと私が言った言葉の意味が伝わるのではないと思う。

お財布事情に優しくないギャンブル的な本の選択作業は、家計簿に書籍代を作らなければならないほどだ。本を選ぶときに値段を見るわけではないので、お会計でびっくりすることがある。予算を越えてしまったとき、あと何日間本を買うことができなにかと指折り数える。こんな私の聖地と言っても過言ではないのが図書館だ。ギャンブル的な本の選択作業を驚くほどスムーズに行うことができる。無料で、好きなだけ選べるのだ。さらにはリクエストも聞いてくれる。本学の図書館の素晴らしいところは、学部が二つあり図書館も二か所ある。所蔵の本はバラエティーに富んでいて、漫画本まで置いている。きらきら輝く宝箱のようなところだ。勉強に疲れたとき、人生に疲れたとき、図書館でつまみ食いをしてみんなに幸せになってほしい。

## お勧めの図書

「人生がときめく片づけの魔法」近藤真理恵著、サンマーク出版、2011

「人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ」ロバート・フルガム著；池央耿訳、河出書房新社、1990

## 札幌市立大学 教員著作一覧

図書館では、学内関係者の著作物を収集しています。  
2013年10月末現在、図書館が所蔵する  
資料の一部をご紹介します。



## 芸術の森キャンパス・ライブラリー

イラスト・  
デザイン学部3年 パレット エイミー

執筆者名	書名	出版社	出版年	請求記号
学長 蓮見 孝	ポスト「熱い社会」をめざすユニバーサルデザイン：モノ・コト・まちづくり	工業調査会	2004	501.83/Has
	地域再生プロデュース：参画型デザインの実践と効果	文真堂	2009	601.1/Has
	マルゲリータ女王のピッツァ：かたちの発想論	筑波出版会	1997	757.04/Has
特任教授 小西 敏正	平成日本らしさ宣言：現代社会の暴走を止める古くて新しいニッポンの発想	講談社	2009	304/Kon
	超入門建築製図：二級建築士試験で要求される図面の描き方	市ヶ谷出版社	2005	525.18/Nag
教授 石崎 友紀	牛乳パックのはたらくのりもの	いんなあととりっぴ社	1991	754.9/ISH
	どうぶつのおやこ：チョキチョキペタタンつくってあそべる工作図鑑	テン・ブックス	1997	754.9/DOB
	わくわくゴロリのつくってあそぼ	日本放送出版協会	1991	754.9/Nhk/1-8
	わくわくゴロリの牛乳パックでつくろう	日本放送出版協会	1997	754.9/Nhk/2
	わくわくゴロリの発泡トレーでつくろう	日本放送出版協会	2000	754.9/Nhk
	わくわくゴロリのうごくのりものをつくらう	日本放送出版協会	2006	754.9/Nhk
教授 上遠野 敏	わくわくゴロリのうごくきょうりゅうをつくらう	日本放送出版協会	2007	754.9/Nhk
	Satoshi Katono : works 1988-1992	上遠野敏	1993	706.9/KAT
教授 武邑 光裕	上遠野敏：西へ向かうかたち：Heavenwards configuration	札幌芸術の森	1994	706.9/KAT
	記憶のゆくたて：デジタル・アーカイブの文化経済	東京大学出版会	2003	007.5/Tak
	デジタル・ジャパネスク：マルチメディア社会の感性革命	NTT出版	1996	361.453/Tak
	メディアの遺伝子：デジタル・ゲノムの行方	昭和堂	1998	361.453/Tak
教授 原 俊彦	原典メディア環境：1851-2000	東京大学出版会	2001	361.453/Tsu
	狩猟採集から農耕社会へ：先史時代ワールドモデルの構築	勉誠出版	2000	202.5/Har
	統計の世界：物の見方・考え方・心構え	原書房	2011	417/Har
教授 望月 澄人	シンデレラ：オブジェのある風景	牛若丸出版	1994	727/MOC
	マサカヤ亭奇譚：夢みる少年の物語	牛若丸出版	1985	913.6/MOC
准教授 武田 亘明	北海道のマルチメディア：インターネットで広がる	北海道新聞社	1996	007.3/Hok
	ホームページ作りらくらくガイド：インターネットで広がる	北海道新聞社	1996	547.48/Tak
	インターネットサーバーづくりらくらくガイド：インターネットで広がる	北海道新聞社	1998	547.48/Tak
准教授 山田 良	Vertical Landscape : 山田良 : Ryo Yamada	札幌市芸術文化財団	2009	706.9/Yam

## 桑園キャンパス・ライブラリー

執筆者名	書名	出版社	出版年	請求記号
副学長 中村 恵子	看護OSCE : objective structured clinical examination	メヂカルフレンド社	2011	492/Nak
	ナースのためのNEW心電図の教室 / 新訂版.	学研	2005	492.123/Nas
	ポケットブル<ベーシック>ファースト・エイドマニュアル	医歯薬出版	1993	492.29/Nak
	基礎看護(看護学入門;2006年度版;7巻.基礎看護;2).	メヂカルフレンド社	2005	492.9/Kan/7
	ポケットブルクリティカル・ケアマニュアル	医歯薬出版	1993	492.9/Nak
	急性期の患者のフィジカルアセスメント = Physical assesment in acute care	南江堂	2000	492.913/Tak
	救急看護Question box ;1-9	中山書店	2006	492.916/Kyu/1-9
	救急ケア(Nursing selection ;10).	学習研究社	2003	492.916/Nak
	救急看護プラクティス：エマージェンシーケアの基本と技術	南江堂	2004	492.916/Nak
	NEW人工呼吸器ケアマニュアル	学研	2000	492.916/New
	もっと!らくらく動作介助マニュアル：寝返りからトランスファーまで	医学書院	2005	492.929/Yam
	「特定看護師(仮称)とは何か? : 新時代のチーム医療推進に向けて	へるす出版事業部	2010	498.14/Tok
教授 スーディ 神崎 和代	在宅看護学講座	ナカニシヤ出版	2012	492.993/Kan
教授 松浦 和代	病気の子どもの教育入門	クリエイツかもがわ	2013	378.4/Zen
教授 山本 勝則	精神看護技術：その手順と根拠	メヂカルフレンド社	1999	492.911/Kan/5
	根拠がわかる精神看護技術	メヂカルフレンド社	2008	492.927/Yam
准教授 大野 夏代	はっちゃんパキスタン生まれ：助産婦さんの海外出産体験記	ぶなのもり	1997	916/Ono
准教授 山田 典子	セーフコミュニティに暮らしたい：安心なまちづくりを目指す十和田市民ボランティアのこころみ	梨の木舎	2010	318.8/Yam

# 附属図書館 貸出・視聴ランキング

集計期間:2012/10/1~2013/9/30

イラスト・  
デザイン学部3年 秋元菜奈美



## 館外図書貸出ランキング

# 芸術の森

## 館内AV視聴ランキング

No.1

### サファイア

湊かなえ著. 角川春樹事務所, 2012.  
芸術の森 2F 開架 913.6/Min

No.2

デザインの組み方: 見てわかるレイアウトの新ルール  
甲谷一著. 誠文堂新光社, 2011. 芸術の森 2F 開架 021.4/Kab

No.3

阪急電車  
有川浩著. 幻冬舎, 2010. (幻冬舎文庫; あ-34-1). 芸術の森 1F 文庫新書 913.6/Ari

No.4

クリエイティブ業界を目指す人のためのポートフォリオ見本帳  
尾形美幸著. エムティエヌコーポレーション, 2011. 芸術の森 2F 開架 674.4/Oga

No.5

かわいい印刷  
手紙社著. ビエ・ブックス, 2010. 芸術の森 2F 開架 749/Teg

No.6

絵と言葉の一研究: 「わかりやすい」デザインを考える  
寄藤文平著. 美術出版社, 2012. 芸術の森 2F 開架 727.04/Yor

No.7

空飛ぶ広報室  
有川浩著. 幻冬舎, 2012. 芸術の森 2F 開架 913.6/Ari

No.8

何度も読みたい広告コピー  
パインターナショナル, 2011. 芸術の森 2F 開架 674/Nan

No.9

小型グラフィック・コレクション = Graphic collection  
グラフィック社編集部編. グラフィック社, 2012. 芸術の森 2F 開架 674.3/Gra

No.10

クリエイターをめざす人のための、人の心を動かす三ツ星ポートフォリオの企画「虎の巻」  
佐藤良仁 [ほか] 編著. 六耀社, 2011. 芸術の森 2F 開架 674.4/Sat

### 総評

湊かなえ著「サファイア」が1位となりましたが、印刷物やポートフォリオに関する図書も多くランクインしています。印刷物のデザインや自分の作品の紹介方法といった点への興味・関心の大きさが伺えるランキングとなりました。(芸術の森キャンパス・ライブラリー司書 櫻田)

No.1

### コクリコ坂から

宮崎駿企画・脚本: 宮崎吾朗監督  
ウォルト・ディズニー・スタジオジャパン(発売), 2012.(ジブリがいっぱいCOLLECTION / スタジオジブリ制作). 芸術の森 1F AV 778.77/Ghi

No.2

秒速5センチメートル  
新海誠原作・脚本・監督. コミックス・ウェブ・フィルム, 2008. 芸術の森 1F AV 778.77/Byo

No.3

AKIRA  
大友克洋原作・監督; 大友克洋, 橋本以蔵脚本. パンダイビジュアル, 2009. 芸術の森 1F AV 778.77/Aki

No.4

魔女の宅急便  
角野栄子原作; 宮崎駿プロデュース・脚本・監督; スタジオジブリ制作. スタジオジブリ(制作), 2001.(ジブリがいっぱいCOLLECTION / スタジオジブリ制作). 芸術の森 1F AV 778.77/Ghi

No.5

Harry Potter and the deathly hallows Part 2  
directed by David Yates; based on the novel by J.K. Rowling; produced by David Heyman, David Barron: ワナー・ホーム・ビデオ [distributor], 2012. 芸術の森 1F AV 778.77/Har/7-2

No.6

Alice in Wonderland  
directed by Tim Burton; based on the novel by Lewis Carroll. ウォルト・ディズニー・スタジオ・ジャパン [distributor], 2010.(Disney DVD). 芸術の森 1F AV 778/All

No.7

時をかける少女  
細田守監督; 高井康隆原作; 奥寺佐彦子脚本. 角川書店(発売), 2007. (kadokawa anime). 芸術の森 1F AV 778.7/Tok

No.8

ショートショート  
宮崎駿, 近藤書文, 百瀬義行 [ほか] 監督・演出. プエナヒスタホームエンターテイメント(発売), 2005.(ジブリがいっぱいCOLLECTION / スタジオジブリ制作スペシャル.Studio Ghibli DVD video). 芸術の森 1F AV 778.77/GHi

No.9

告白  
中島哲也監督・脚本; 湊かなえ原作. 完全版. 東宝(発売), 2011. 芸術の森 1F AV 778/Kok

No.10

耳をすませば  
宮崎駿プロデュース・脚本・絵コンテ・近藤書文監督・スタジオジブリ制作・スタジオジブリ(制作), 1995.(ジブリがいっぱいCOLLECTION / スタジオジブリ制作Studio Ghibli DVD Video). 芸術の森 1F AV 778.77/GHi

### 総評

1位の「コクリコ坂から」をはじめ、10本中7本がアニメーション映画です。「秒速5センチメートル」は3年間2位を守り続けており、根強い人気が見えます。今後のアニメ関連図書の貸し出し増加にも期待できるかもしれません。(芸術の森キャンパス・ライブラリー司書 木村)

## 館外図書貸出ランキング

# 桑園

## 館内AV視聴ランキング

No.1

### 疾患別看護過程の展開

山口瑞穂子, 関口恵子監修. 第3版. 学研, 2008.  
桑園 開架 492.914/Shi

No.2

質的研究への挑戦  
舟島なをみ著. 第2版. 医学書院, 2007. 桑園 開架 492.907/Fun

No.3

「意味づけ」[経験知]でわかる病態生理看護過程: エキスパートが持つ知恵と経験知をマスター  
昭和大学病院看護部, 石橋悦子編集; 上巻, 下巻. 日総研出版, 2006. 桑園 開架 492.914/Sho/上

No.4

病期・病態・重症度からみた疾患別看護過程+病態関連図  
井上智子, 佐藤千史編集. 医学書院, 2008. 桑園 開架 492.914/Ino

No.5

ヘンダーソン・ゴードンの考えに基づく実践看護アセスメント: 同一事例による比較  
渡邊ト子編集. 第2版. ナーヴェルヒロカワ, 2003. 桑園 開架 492.913/Wat

No.6

個別性を重視した認知症患者のケア  
松下正明, 金川克子監修. 改訂版. 医学芸術社, 2007. 桑園 開架 492.929/Kob

No.7

呼吸器  
医療情報科学研究所編. 第1版. Medic Media, 2007. (病気がみえる/医療情報科学研究所編4) 桑園 開架 492/Iny/4

No.8

根拠がわかる疾患別看護過程: 病態生理と実践がみえる: 関連図と事例展開  
新見明子編集. 南江堂, 2010. 桑園 開架 492.914/Nii

No.9

ウエルネスからみた母性看護過程+病態関連図  
佐世正勝, 石村由利子編. 医学書院, 2009. 桑園 開架 492.924/Sas

No.10

「意味づけ」[経験知]でわかる病態生理看護過程: エキスパートが持つ知恵と経験知をマスター  
昭和大学病院看護部, 石橋悦子編集; 上巻, 下巻. 日総研出版, 2006. 桑園 開架 492.914/Sho/下

### 総評

1位の「疾患別看護過程の展開」は昨年10位からのランクアップ。疾患ごとに解説し、患者を総合的に理解できる資料が多くランクインしました。7位の「呼吸器」は「病気がみえる」シリーズの1冊ですが、現在の巻も人気です。(桑園キャンパス・ライブラリー司書 加瀬)

No.1

### 新生児、乳児と幼児

未就学児.  
新宿スタジオ, 2010. (V-toneビデオライブラリー - 小児看護入門シリーズ; 1) 桑園 AV 492.925/Sho/1

No.2

テルマエ・ロマエ  
武内英樹監督; 武藤将吾脚本; ヤマザキマリ原作. フジテレビジョン(発売), 2012. 桑園 AV 778/Ter

No.3

大腿骨頸部骨折患者の看護事例  
医学映像教育センター制作著作. 第2版. 医学映像教育センター, 2012. (看護教育シリーズ / 医学映像教育センター制作著作. 看護のためのアセスメント事例集1) 桑園 AV 492.91/Kan/1

No.4

アントキノイノチ  
瀬々敬久監督; 平野隆, 下田淳行企画プロデュース; 田中幸子, 瀬々敬久脚本; さだまさし原作. スタジオ・エディション. ポニーキャニオン(発売), 2012. 桑園 AV 778/Ant

No.5

産褥早期の母親へのアセスメントと支援  
医学映像教育センター制作著作; 鍋田美咲原案; 坂梨薫監修. 医学映像教育センター, 2011. (看護教育シリーズ / 医学映像教育センター制作著作. 産褥経過のアセスメントと支援の実際.vol.2) 桑園 AV 495.8/San/2

No.6

ツレがうつになりまして。  
佐々部清監督; 青島武脚本; 細川貂作原作. キングレコード, 2011. 桑園 AV 778/Tsu

No.7

胎児期・新生児期: 魅力に満ちたその世界  
田島信元監修; 川上清文指導. サン・エデュケーション, 2006. (DVD Psychology series: ビジュアル生涯発達心理学入門; 2) 桑園 AV 143/Bij

No.8

0歳児  
[医学映像教育センター制作著作]. 医学映像教育センター, 2011. (健康・保健シリーズ. 乳幼児の発達と保育; vol.1) 桑園 AV 376.1/Nyu/1

No.9

消化・神経・成熟徴候・外表  
医学映像教育センター制作著作. 医学映像教育センター, 2010. (看護教育シリーズ / 医学映像教育センター制作著作. 目で見える新生児看護.vol.4.胎外環境への適応生理.2) 桑園 AV 492.921/Med/4

No.10

保育器内での新生児ケアの実際  
医学映像教育センター制作著作. 医学映像教育センター, 2005. (看護教育シリーズ) (目で見える新生児看護) 桑園 AV 492.921/Med/2

### 総評

ランキング内には、授業で紹介されたDVDの視聴が多く、学習に意欲的な様子が伺えます。その中で、昨年話題になった邦画3本がランクインしました。今後も沢山の方に視聴して頂けるよう、AV資料の充実をはかりたいと思います。(桑園キャンパス・ライブラリー司書 岩間)

# 芸術の森キャンパス・ライブラリー 企画展示



芸術の森キャンパス・ライブラリーでは昨年引き続き、2013年10月21日(月) - 11月9日(土)の期間、隣接する札幌芸術の森美術館と連動した企画展示を行いました。

アートやデザイン分野に特化した当館の資料を本学学生だけでなく地域の皆さまに広く公開することで本学と地域との交流を深めることを目的とし、札幌芸術の森美術館の「高橋コレクション マインドフルネス！」展に合わせ、「知りたい！現代アート作家の頭の中 Mind of Mindfulness!」と題して、出展作家たちの「頭の中をのぞく」をコンセプトに企画を立ち上げました。

企画展示チラシ

札幌芸術の森美術館で開催されていた「高橋コレクション マインドフルネス！」展は日本屈指の現代美術コレクターとして知られる精神科医・高橋龍太郎氏のコレクションの中から、草間彌生の立体作品「ハイ！コンニチワ やよいちゃん」をはじめ、ベテランから若手に至るまで多数の作家による114点もの多彩な現代アートが展示されていました。当館ではアートやデザイン系の図書を多数所蔵しており、その中には現代アートの関連資料も数多く含まれます。それらの所蔵資料を活かすべく、美術館に実物の作品が展示されているのに対し、当館では作家の作品集だけでなく、作家同士の対談・作家のエッセイ・インタビューなど現代アート作家の内面に迫る資料を中心に、厳選した94点(図書76点+雑誌14点+映像資料4点)を展示いたしました。



館内企画展示風景

# 『知りたい！現代アート作家の頭の中 Mind of Mindfulness!』

2013年10月21日(月) - 11月9日(土)



展示風景 (机上全体)



展示風景 (机上アップ)

また、今回は札幌芸術の森美術館との連動企画ということで、展示内容だけでなく、両館を訪れていただくために“スタンプラリー”の実施、“美術館&図書館移動MAP”を作成・配布するなど、より「連動」を意識した展示を行いました。スタンプラリーでは両館の展示をご覧いただいた方に記念品として、佐藤忠良氏のポストカード（美術館提供）と本学ロゴマーク入りのマグネットを用意いたしました。

さらに、ポスターや展示レイアウトについては、図書館長の中原先生や図書館運営委員の金子先生からアドバイスを頂き、展示場所を入口正面に設けました。目に入りやすい場所に設置した効果も大きく、入館されたほとんどの方が展示コーナーを目指し、足を止め資料を手に取り鑑賞されていました。表紙が見えるように展示することで初めて入館される方はもちろんのこと、学内利用者であっても、通常の配架では気づかずにいた資料に触れることができる良い機会となりました。公共図書館ではなかなか所蔵していない資料も多く、「こんな本初めて見た」という驚きの声もあがっていました。

この企画展示期間中は、より多くの方に当館の資料を楽しんでいただけるように年齢などの入館制限は設けず、どなたでも入館していただけるようにいたしました。その結果、普段当館をご利用いただくことができない小さなお子様や中学生等も含め、展示を見に来て下さった方は、期間中合計175名に上りました。

今回の企画展示は、幅広い年齢の方に当館を知っていただき、アートやデザイン分野に特化した当館の資料をご覧いただく良い機会になったことと思います。

当館が地域情報拠点の「知」の場になるよう力を尽くして参ります。

(芸術の森キャンパス・ライブラリー司書)



札幌芸術の森美術館・札幌市立大学附属図書館芸術の森キャンパス・ライブラリー間 移動MAP

## 表紙の作品について

「参加型作品「Factory」「ウェーブ」「観覧車」の製作  
～コミュニケーションツールと捉えた  
アート作品の魅力向上要素の効果検証を通して～」

札幌市立大学デザイン学部の卒業修了研究展は、芸術の森キャンパスを会場に一般公開され、2012年度より、教職員・学生と来場者の投票による「芸術の森」賞が創設された。栄えあるこの第1回の試み「札幌市立大学 卒業修了研究展 2013【本展】」において、堂々の獲得票数1位を獲得した「ミズナラ賞」受賞作品。

## 作者紹介

若生 大地(わこう だいち)

札幌市立大学デザイン学部製品デザインコース 第4期生。  
在学中、製品デザインを学ぶ傍ら数々のアート作品を制作する。地域社会におけるアート作品の価値をテーマに卒業研究を行い、第1回「芸術の森」賞における「ミズナラ賞」を受賞。卒業後は、その圧倒的な表現力をかわれ 有限会社カイカイキキ 札幌 STUDIO PONCOTAN にてアニメーション制作にかかわる。

# 札幌市立大学 附属図書館

SAPPORO CITY UNIVERSITY



<http://www.lib.scu.ac.jp/>

## 編集後記 ▶ デザイン学部 武田 亘明

1878年のパリ万博で電話や蓄音機、自動車が展示されました。20世紀は、100年前に構想されたモノをやっと実現してきた世紀でした。今日、メディア社会の進展はめざましく、クラウド化が構想され情報端末機器はウェアラブル化し、無意識のうちにライフログは蓄積されビッグデータ化されています。

一方、東北の大津波、原発事故から3年が過ぎようとしていますが、復興は未だ思うように進んでいません。人々は身近な人間関係の中に癒しを求め、里山のあるふるごとに思いを巡らせています。

アメリカのジャーナリスト、リンカーン・ステファンは『How to Get Ideas』(1936)の中で「すでに成し遂げられてしまったことなど、何一つとしてない。世界中のすべてのものは、これから成し遂げられるのを、新しいものに打ち負かされるのを待ち続けている。これまで最高の発明はされていない、最高にすばらしい物語も書かれてはいない。もっとも安心できる法律もできてはいない。」と語っています。

より優れたモノをつくり、もっと新しいコトを発見するのは、私たちの仕事です。22世紀の社会はどうあるべきなのでしょう？ 私たちは何をどのように構想し、希望を持ってどこへ向かうべきなのでしょう？

そこで、今回の特集のテーマは「知と希望」としました。今こそ、知の宝庫図書館で世界と歴史に向き合って、徹底的に考え、そして好奇心と疑問を持って街へ出かけてみませんか。

## 札幌市立大学附属図書館ニュースレター のほほん第7号

編集 札幌市立大学図書館運営会議  
編集委員 武田 亘明 町田佳世子  
清水 光子 藤井 瑞恵

発行日 2014年1月20日

発行 札幌市立大学附属図書館  
〒005-0864 札幌市南区芸術の森1丁目  
事務局 地域連携課 図書館担当  
TEL.011-592-2346

制作・印刷 山藤三陽印刷株式会社

ご感想をお聞かせください。  
library@scu.ac.jp



見やすいユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。

R100

